

大震災・復興ニュース（第43報）

平成24年2月9日
仙台地方振興事務所水産漁港部

1 水産業復旧・復興に向けた対応状況（国及び県全体の動き）

宮城県内の水産物の放射性物質測定結果について

- 測定年月日 平成24年1月13日～2月8日
- 測定分析機関 宮城県農林水産部，(財)日本分析センター，いであ(株)，(財)日本冷凍食品検査協会(独)水産総合研究センター中央水産研究所
- 測定結果 放射性セシウムは国が定めた暫定規制値を下回り安全性に問題がないことが確認された。
(継続して検査している放射性ヨウ素については、今後検出された場合のみの記載とします。)

水産物（漁獲日 平成23年12月22日～平成24年1月29日）（単位:ベクレル/kg）

種別	漁獲場所	放射性セシウム	種別	漁獲場所	放射性セシウム
マダラ	宮城県沖	不検出	ミズダコ	宮城県沖	不検出
マダラ	宮城県沖	12	スケトウダラ	宮城県沖	5.9
マダラ（精巢）	宮城県沖	不検出	アカガレイ	宮城県沖	6.3
マダラ（卵巣）	宮城県沖	不検出	ババガレイ	宮城県沖	4.8
岩のり	網地島地先	不検出	イカナゴ	仙台湾	50
ふのり	網地島地先	不検出	ヒラメ	仙台湾	35
イソイアイメ(ドンコ)	宮城県沖	6.9	マダラ（肝臓）	仙台湾	19.4
ヒラメ	宮城県沖	3.2	マダラ	仙台湾	68
マコガレイ	宮城県沖	2.5	マダラ（内臓）	仙台湾	24.7
スケトウダラ	宮城県沖	1.78	メバチマグロ	太平洋沖合	2.09
マダラ	宮城県沖	49	メカジキ	太平洋沖合	不検出
マダラ（精巢）	宮城県沖	15.9	アオザメ	太平洋沖合	0.84
ムサシカ(ボッケ)	宮城県沖	17.3	ヨシキリザメ	太平洋沖合	不検出
マダラ	宮城県沖	31	放射性物質の値は漁獲日における値を示す。		

食品衛生法の規定に基づく食品中の暫定規制値 放射性セシウム 500ベクレル/kg

水産基本計画骨子（案）について

平成24年2月3日，水産政策審議会第15回総会・第39回企画部会合同会議において水産基本計画骨子（案）が公表されました。以下概要を一部抜粋。

・水産に関する施策についての基本的な方針の柱は以下の4点。

- 1 東日本大震災からの復興
- 2 我が国周辺水域を中心とする水産資源のフル活用
- 3 「安全・安心」など消費者ニーズに即した水産物の供給
- 4 安全で活力ある漁村づくり

・そのうち，1の「東日本大震災からの復興」への取組の基本理念は以下の5点。

- 地元の意向を踏まえて復興を推進する。 被災地域における水産資源をフル活用する。
- 消費者への安全な水産物の安定的な供給を確保する。 漁期等に応じた適切な対応を行う。
- 単なる現状復旧にとどまらない新たな復興の姿を目指す

現在水産庁のHPで骨子案に対するパブリックコメントを募集しています。

2 管内の復興に向けた動き

松島復興かき祭り

2月4・5日の二日間、JR松島海岸駅前グリーン広場において松島かき祭りが開催され、好天にも恵まれて大勢の観光客で賑わった。

4日には祭りに先だっがかき供養祭が行われ、その後日本三景（松島産・広島産・舞鶴産）のかき食べ比べ等各種イベントが開催された。

伊達なわたり生き生き大賞決定

2月7日、亶理町中央公民館において、「伊達なわたり生き生き大賞」の審査会が開催された。

会場ではエントリー9品目の応募者によるプレゼンが行われ、熱いプレゼントークで会場が盛り上がる一場面もあった。

審査の結果、グランプリはごまの風味とレンコンの食感が高く評価された馬上がまぼこの「ごまころりん」が受賞した。

受賞者は3月20日開催の「伊達なわたりまるごとフェア」会場で表彰される予定である。

災害復旧応援職員の紹介

兵庫県漁港課から参りました福山です。

当事務所への派遣は9月から11月に引き続き、2回目となりました。

前回は、査定の最盛期で、特に11月後半は東松島市・松島町の査定支援が重なり大変忙しく業務を行ったことが昨日のように思い出します。当事務所の査定は昨年すべて完了したとのことでホッとしているとともに、前回の予算取りとは異なり、今回は復興への「頑年」なるべく実現へのスタートの年と聞きました。あらためて気が引き締まる思いです。

微力ですが2ヶ月間、精一杯頑張りますので、今回もよろしくお願ひします。

2月1日付で神戸市みなと総局より参りました村山と申します。

神戸市では技術部工務第1課というところで、海岸保全施設の設計・発注に携わっていました。育ち（出身ではない）は熊本、就職は神戸、そして今回、宮城へと東へ北へと進んできました。

宮城県に来るのははじめてです。2月2日には事務所前で生まれてはじめて「雪かき」をさせていただきました。一日も早く当地になじみ、寒さに慣れ、少しでも皆さまのお役に立って、阪神・大震災の時のご恩返しができると思っています。

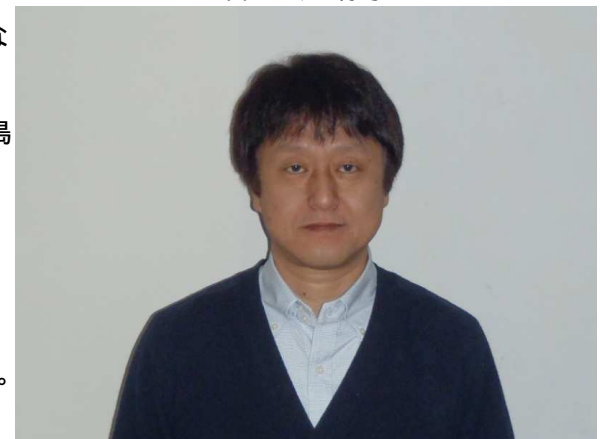
2ヶ月という短い期間ですが、精一杯頑張る所存です。どうぞよろしくお願ひいたします。



かき供養祭の様子



審査会の様子



福山直寿さん



村山雅司さん